



「一誠の子」 地域と共に

地域コミュニティ事業による新看板完成！

一小前歩道橋そばにある地域と子どもたちをつなぐ標語看板が新しくなりました。この看板は第一地区健全育成会の方々により、地域と子どもたちをつなぐものとして設置されていました。今年度に入り、栄町親交会の渡辺豊さんを中心に福島市地域コミュニティ事業を活用して子どもたちに何かしてあげることはないかというお話があり、当初、子どもたちが使うものを検討していましたが、地域と子どもたちを元気にするもの・つなぐものということで、旧看板の支柱が朽ちかけていたこともあり、子どもたちから標語を募集して新たな看板を設置することとなりました。

昨日は、直前までの雨が上がり、青空のもと完成除幕式が行われました。栄町町会長様、校長挨拶の後、標語



を考えた6年生代表、尾形桃佳さんと齋藤美優さんが標語にこめた思いを発表しました。この標語にあるように、子どもたちが元気で思いやりの心をもった人に成長することを願い、これからも地域の皆さんとともに成長を支えていきたいと思えます。

標語「思いやり つないで広げる みんなの笑顔」「広げよう あいさつの輪を ふくしまに」

○ みつばち文庫から、本が寄贈されました。

自然環境や命の大切さなどについて、子どもたちが自ら学び、考え、未来への希望を持ち続けてほしいという願いのもと、社会貢献活動を行っている「みつばち文庫」から8冊の本が届きました。ありがとうございました。

